

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	653	一般コミュニティ助成事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を实践する。	款	06	農林業費
担当部課名	産業振興部 農林政策課		項	01	農業費
作成者氏名	光岡 菊郎	連絡先	目	02	農業総務費
		22-9666	細目	113	一般コミュニティ助成事業
			細々目	01	一般コミュニティ助成事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) コミュニティ活動を積極的に行おうとする地区	成果(どうなるのか) 公園整備と遊具等を設けることにより、地区住民が集い、住民間の会話と交流及び安らぎを提供し、一層の交流が促進できます。			
本年度事業内容	古郡地区ふれあい広場整備につき、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金を交付 整地 1,520㎡ フェンス70m トイレ1箇所 物置1基				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	コミュニティ助成事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,500	1,500	2,000
負担金、補助	2,500	1,500	2,000
その他			
合計(A+B)	3,220	2,220	2,720
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	2,500	1,500	2,000
一般財源	720	720	720
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
整備地区数	箇所	1	1	1	1	1	1

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
整備地区数	地区要望により、毎年1箇所を目標に整備を図ります。	箇所	1 目標 (1)	1	1
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地元が実施主体となった事業に助成金を交付するもので、補助率も大変有利なため(ほぼ100%)、整備を行おうとする地区からの問い合わせが増加してきます。今度も地区要望があれば積極的に自治総合センターに申請します。

評価	必要性	4	事業採択は年間1箇所程度と見込まれ、採択箇所の増加はあまり見込めません。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		